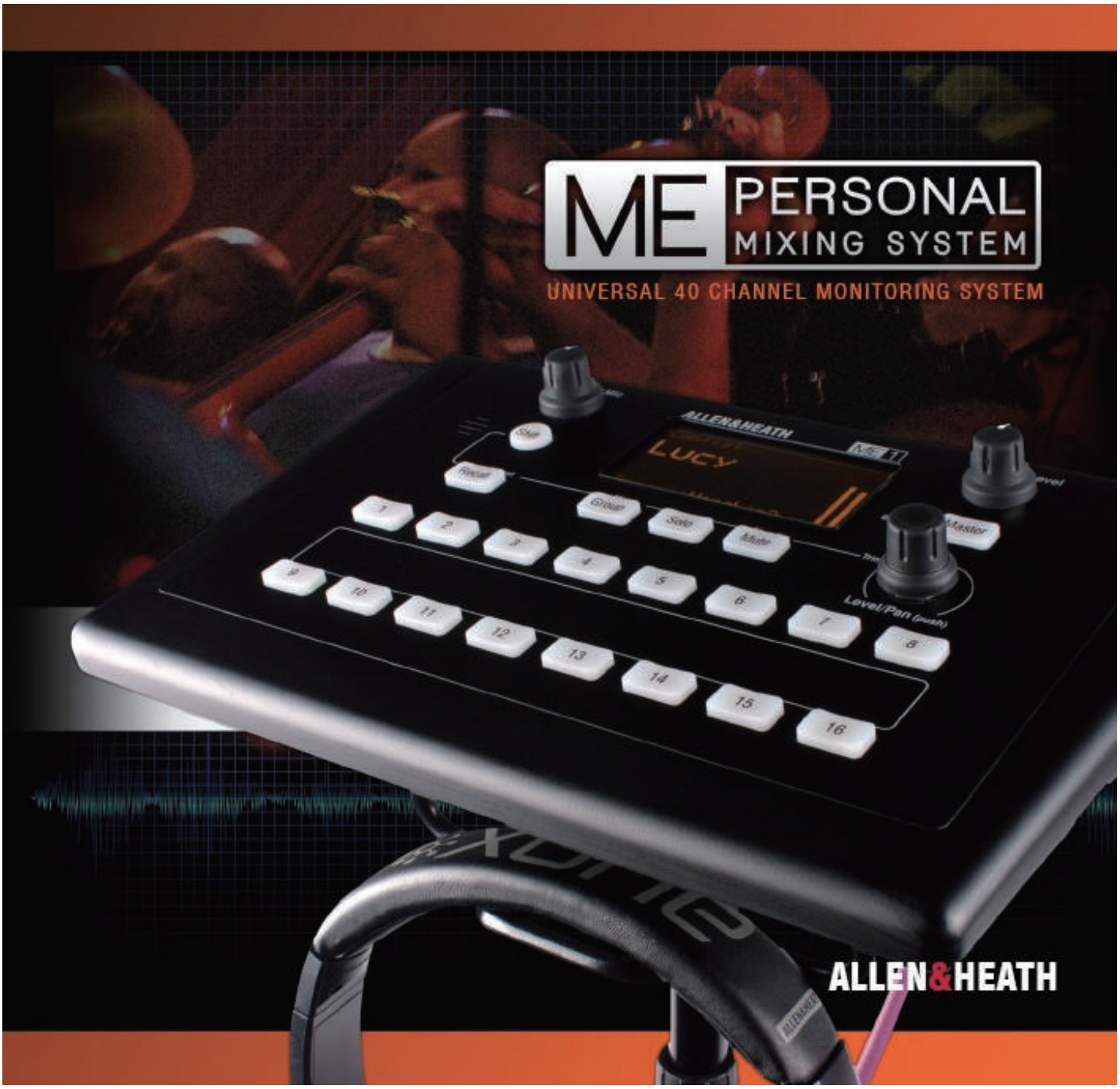


ME 1 Personal Mixer

ユーザーガイド

Publication AP8997

メーカー保証期間は1年間です。

この製品は、所有者の購入日から 1 年間、器具または製造上の欠陥がないことが保証されています。

本製品の設計および製造の際に高い性能と信頼性を確保するために、ご使用前に本ユーザーガイドを読んでください。

故障の場合は、ユニットを購入先に返送してください。保証された修理のため、できるだけ早くお住まいの国の ALLEN＆HEATH 販売代理店またはディストリビューターに連絡してください。

保証条件

本製品は、このユーザーガイドの指示に従ってインストールおよび操作してください。

本製品は、ユーザーガイドまたはサービスマニュアルに記載されているか、または ALLEN＆HEATH の承認を得ずに、誤った取り扱い、変更は認可されていません。

必要な調整、変更または修理は、認可された ALLEN＆HEATH の販売代理店またはディストリビューターが行います。

欠陥のあるユニットは、認可された ALLEN＆HEATH 販売代理店またはディストリビューターに送料前払いで返却してください。返送前に販売代理店またはディストリビューターにご相談ください。

ユニットを購入した国と異なる国で修理する場合、修理期間は通常より長くかかる場合がありますが、保証が確認され部品が供給される間修理可能です。

輸送中の損傷を避けるため、返却ユニットは梱包してください。

保証の追加については、ALLEN＆HEATH の販売代理店またはディストリビューターにお問い合わせください。

さらなる情報は、Allen & Heath にお問い合わせください。

CE The ME range of products complies with the European Electromagnetic Compatibility directive 2004/108/ECand the European Low Voltage Directive 2006/95/EC.

Any changes or modifications to the product not approved by Allen & Heath could void the compliance of the product and therefore the users authority to operate it.

ME-1 Personal Mixer User Guide AP8997 Issue 3
Copyright © 2014 Allen & Heath. All rights reserved

ALLEN&HEATH

http://www.allen-heath.com

使用する前に、これらの注意事項をお読みください

安全について

操作を開始する前に、製品に同梱されている Allen＆Heath の Web サイトからダウンロードできる重要な安全上の注意事項をお読みください。オペレーター、技術者とパフォーマーの身の安全を確保するために、すべての指示に従い、シート上や機器パネルに記載されたすべての警告にお読みください。

サウンドレベル

この製品は、聴力に害を及ぼす可能性のある大きい音量を発生することができます。ヘッドフォンの使用中に聴力障害の危険性を避けるために、イヤモニやスピーカーで大きな音量での長時間の使用はご遠慮ください。
ME-1 ミキサーはリミッター機能を備えており、最大値を超えるレベルを防ぐことができます。

取付方法

ミキサーは直置きでの使用、またはマイクスタンドへ直接取り付けるか、付属のブラケットを使用して取り付けられるように設計されています。マイクスタンドを使用するときは安定させ、転倒または、けがの原因にならないようにしてください。つまずく危険を避けるためのケーブル配線がなされていることを確認してください。

一般的注意

・ミキサーの損傷を防ぐため、落としたり、コントロールサーフェイスに物を置いたり、鋭利なもので表面や画面を傷つけたり、操作および輸送中に乱暴な取り扱いや振動を与えたりしないでください。

・液体やほこりによる損傷から機器を保護してください。ミキサーを長期間使用しないときはカバーしてください。

・コンピューターやスクリーンは、極端な暑さや寒さの影響を受ける可能性があります。装置が氷点下に保たれる場合は、会場で使用する前に常温に戻す時間をおいてください。推奨動作温度は 5 ～ 35℃です。

・柔らかいブラシや乾いた布でサーフェイスを清掃してください。化学薬品、研磨剤や溶剤の使用は避けてください。

・サービスは Allen＆Heath に認可された代理人のみに実行されることが推奨されます。修理品を返送する前にデータを保存してください。Allen＆Heath は認可外によるメンテナンス、修理、改造による損傷、またはデータ損失の責任を負いません。

動作ファームウェア

ME-1 ミキサーの機能は、動作ファームウェアによって決まります。ファームウェアは、新しい機能が追加または改良されたときに更新されます。利用可能な最新バージョンについては、Allen＆Heath の Web サイトを参照してください。以下をダウンロードし、USB に転送してから、ファームウェアセットアップメニューを使用して ME-1 ミキサーにロードします。

www.allen-heath.com/me-1

ソフトウェア使用許諾契約書

本 Allen＆Heath 製品とソフトウェアを用いて、関連したエンドユーザー・ライセンス契約（EULA）の条項に従うことに同意します 。その コピー は以下で 見つかることができます 。ソフトウェアのインストール、コピー、または使用により EULA の条件に従うことに同意するものとします。

www.allen-heath.com/legal

さらに詳しい情報

詳細情報、知識ベースおよび技術サポートについては、Allen＆Heath の Web サイトを参照してください。
Allen＆Heath デジタルコミュニティに参加して、他の ME-1 ユーザーと知識や情報を共有することができます。

製品登録

Allen＆HeathWebサイトから製品登録を行ってください：

http://www.allen-heath.com/register

梱包内容

ME-1には以下の製品が梱包されています。

ME-1 Personal Mixer

ミキサー

DC Power Supply for the ME-1 mixer

ユニバーサル電源ユニットが設けられており、4種類のワールドワイドプラグアダプタを選択できます。アダプタは電源ユニットにはめ込まれます。

Microphone stand side mounting bracket

ミキサーには、マイクスタンドの上部に取り付ける3/8インチのネジ穴があります。
マイクスタンドの側面に取り付け可能なブラケットも付属されています。

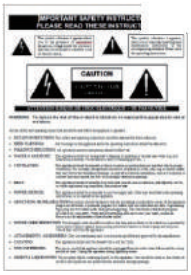
Headphone holder

ヘッドフォンやイヤーピースを掛けるためのミキサーの下側取付フック。

Safety Instruction Sheets

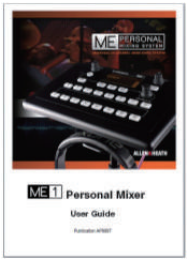
AP8997 iss.3

- 使用前にお読みください



User Guide

本ユーザーガイド.



Note Cat5リンクケーブルは付属されていません。内容に応じた適正なケーブルの長さはや詳細は本ガイドの後半で説明しています。

以下のケーブルは、Allen & Heathで利用可能です。

AH8822 2m (6.6') short patch
AH9651 20m (66') coil
AH9650 100m (330') drum

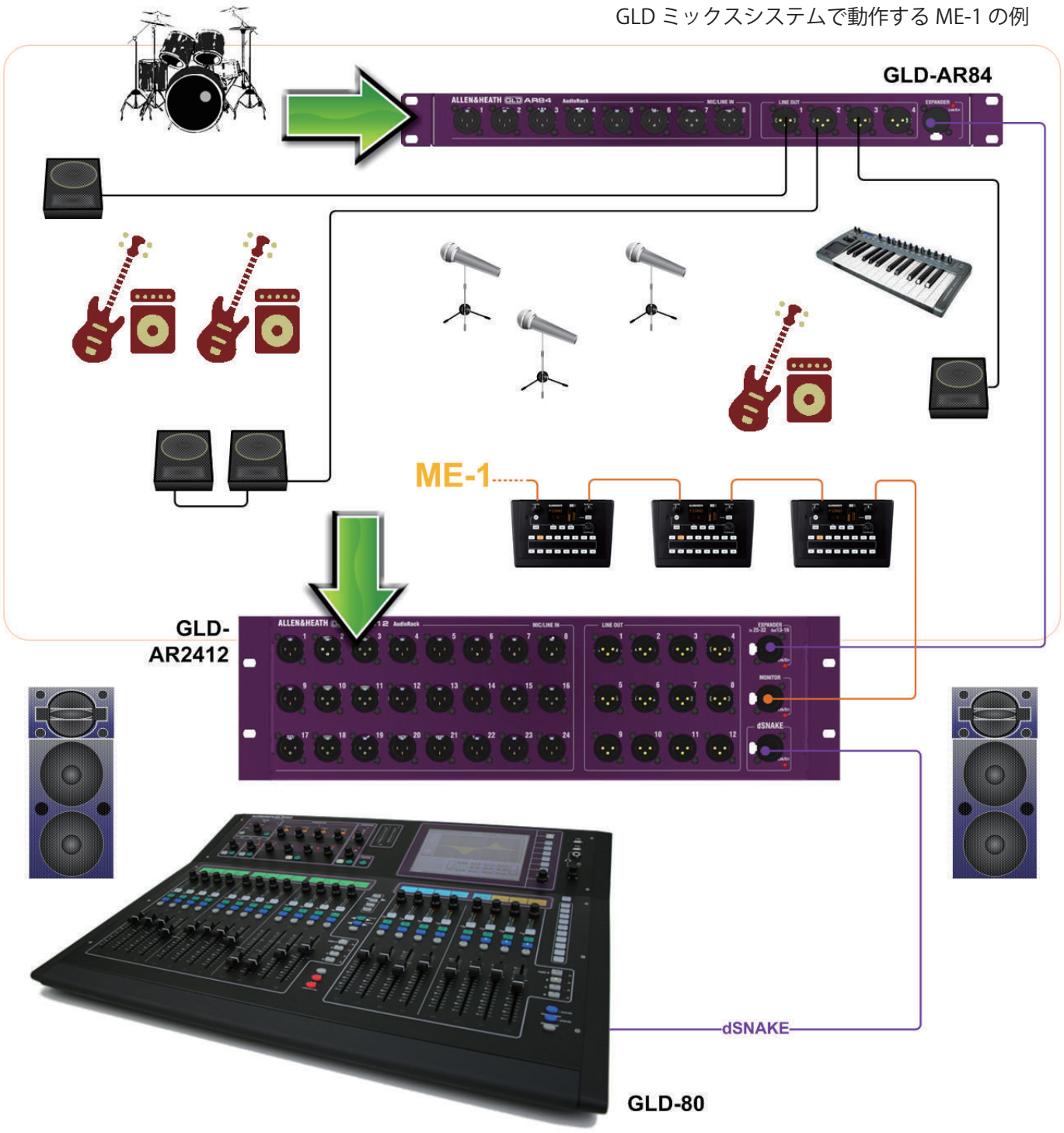
1. 目次

1. 目次 5
2. 概要 7
3. はじめに 9
4. フロントパネル 10
5. リアパネル 11
6. ME-1のインストール 12
   6.1 ユニットの取付 12
   6.2 Cat5 ケーブル 12
   6.3 Ethernet スイッチ 12
   6.4 オーディオ接続 13
7. ME-1使用方法 14
   7.1 電源のオン/オフ 14
   7.2 スタンバイ 14
   7.3 操作モード 14
   7.4 ロータリーコントロール 14
   7.5 スクリーンセーバー 15
   7.6 ホームスクリーン 15
   7.7 ステレオメーター 15
   7.8 マスターレベルの調整 15
   7.9 ローカルマイクレベルの調整 15
   7.10 音源選択 16
   7.11 レベルとパンの調整 16
   7.12 トリムすべてのレベル調整 16
   7.13 音源・マスターをミュートする 17
   7.14 ソロを聞く 17
   7.15 グループマスターレベルの調整 17
   7.16 グループソースレベルの調整 17
   7.17 マスターEQの調整 18
   7.18 ミックスのリミッター調整 18
   7.19 プリセット 18
   7.20 キーからのプリセットリコール 18
   7.21 USBからのプリセットリコール 19
   7.22 プリセットをキーに保存する 19
   7.23 プリセットをUSBに保存する 19
   7.24 プリセットを編集する 19
8. ME-1の設定 21
   8.1 ミキサー出力をME-1にパッチする 21
   8.2 セットアップモード 22
   8.3 明るさ調整 22
   8.4 スクリーンについて 22
   8.5 キーソースをアサイン 22
   8.6 オートネームステレオリンク 23
   8.7 グループの設定 25
   8.8 キーアサイン・オートモード 25
   8.9 キー名称のアサイン 26
   8.10 キープリセットモードのアサイン 26
   8.11 設定について 27
   8.12 ユニット名の変更 28
   8.13 ローカルマイク・ミュートオプション 28
   8.14 ME-1ファームウェアアップデート 28
9. リファレンス 29
   9.1 USB を使う 29
   9.2 ME-1をリセットする 29
   9.3 オートネームとリンクをリセットする 29
   9.4 Specification 30

ME-1 は Allen & Heath **ME** パーソナルミキシングシステムの一部です。ME-1 は、Allen & Heath の dLIVE、GLD、Qu ミキサー、または ME-U ハブ経由で他のシステムと連携できます。

ステージ上に好みに合わせた数の ME-1 ミキサーを配置できます。ME-1 は、メインコンソールから Cat5 ケーブルを介して複数のオーディオチャンネルを受け、独自でミックスし、ヘッドフォン、イヤフォン、またはスピーカーに出力します。各ミュージシャン、アーティスト、プレゼンターが独自のモニターミックスを管理することで、ハウスエンジニアが FOH ミックスに集中することができます。

GLD ミックスシステムで動作する ME-1 の例

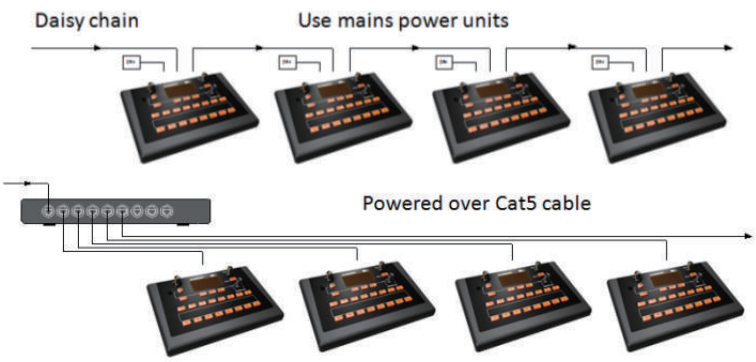


2. 概要

ユニークでフレキシブルで直感的な操作が可能な ME パーソナルミキシングシステム。舞台や礼拝堂、リハーサルルーム、スタジオ、会議、ライブなど、個々のミュージシャン、パフォーマー、プレゼンターが自由に自分のモニターをコントロールすることができます。

ME-1 は、メインコンソールから Cat5 ケーブルを介して最大 40 の音源を受ける自立型のデジタルパーソナルミキサーです。ヘッドホン、イヤフォン、ドラマー、スピーカーまたはその他のモニターデバイスを駆動するためにステレオおよびモノラル出力でミックスします。

ミュージシャンに自身モニターミックスを管理させることで、サウンドエンジニアのプレッシャーを取り除きます。ME-1 内の 40 チャンネルをグループ化し、各ミュージシャンのコントロールを簡単にすることで、メインコンソールバスを使い切る必要がなくなります。必要に応じて、または管理できるように、16 個のキーのうちの希望に合った数をアサインできます。



用途に合った設計
- コンパクトでスマート
- 見やすい OLED スクリーン
- 暗闇でも見えるバックライトキー
- サーフェイス、直置、またはマイクスタンドへの取付可能
- スタンド取付可能なネジ穴付
- スタンドブラケット付属
- ヘッドフォンフック付属

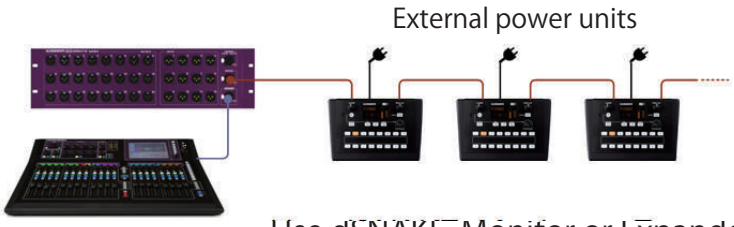
ミュージシャンに合った簡単操作
- 選択キーを押します。
- レベルの調整はロータリーを回します。
- パンの調整はロータリーを押したまま回します。
- トリムすべてのレベルはシフトを押したまま回します。
- 個別またはマスターをミュートします。
- 個別にソロにします。
- グループモードでグループのバランス決定します。
- MP3 プレーヤーなどのローカルソースを追加します。
- ローカルマイクでステージ上での会話が可能です。
- ミックスレベルとは独立してローカルマイクを調整します。
- 3 バンドマスター EQ を使用してトーンを調整します。
- リミッターを使用してピークを防止します。
- ミックスのプリセットをストア、リコールします。
- 離席中にスタンバイモードを使用して保護します。

各ミュージシャンに合わせてカスタマイズ
- 提供するコントロールの数を構成します。
- キーをアサインまたは未アサインにします。
- 16 個のキーそれぞれのソースを選択します。
- 未使用、40 チャンネル、Aux In、グループ
- マルチソース管理のためのグループを設定
- ストア、リコール、リコール専用のプリセットのアサイン
- デフォルトを使用するか、カスタムキー名を設定します。
- ミキサーを識別するためのユニット名を設定します。
- 名前とアーカイブを設定します。
- ユーザーを識別するために設定名を使用します。
- USB 経由で設定またはプリセットを転送します。

便利な接続
- 任意の数の ME-1 ミキサーをデイジーチェーン接続
- イーサネットスイッチを使用したパラレル接続
- 単一の Cat5 ケーブルがオーディオと名前を送信
- dLIVE ME-1 ポートへ直接接続
- GLD または Qu dSNAKE へ直接接続
- Aviom®A-Net 16 へ直接 (相互) 接続
- ME-U ハブ経由で他のネットワークに接続
- 48kHz Dante、MADI、EtherSound
- Cat5 ケーブル経由で PSU または PoE を使用
- ツアー対応可能の ME-U PoE ハブ 10 ポート

GLD Daisy chain

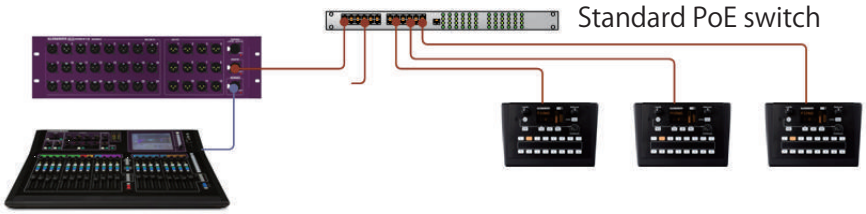
Channels	40
Stereo links	✓ from GLD
Auto names	✓ from GLD



Use dSNAKE, Monitor or Expander ports

GLD Parallel connection

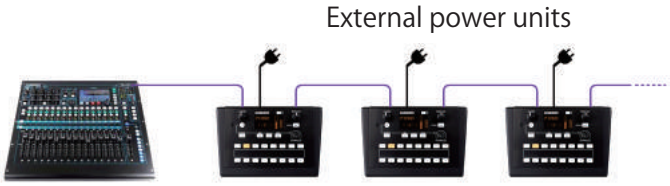
Channels	40
Stereo links	✓ from GLD
Auto names	✓ from GLD
Standard switch	✓
PoE switch	✓



Use dSNAKE, Monitor or Expander ports

Qu Daisy chain

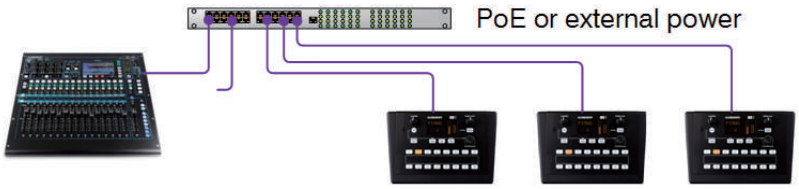
Channels	40
Stereo links	✓ from Qu
Auto names	✓ from Qu



From rear panel dSNAKE port

Qu Parallel connection

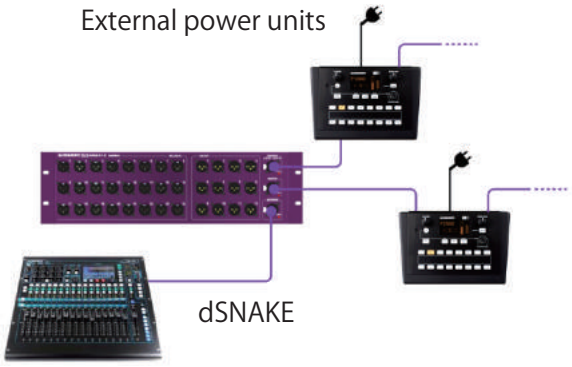
Channels	40
Stereo links	✓ from Qu
Auto names	✓ from Qu
Standard switch	✓
PoE switch	✓ Standard or ME-U



From rear panel dSNAKE port

Qu From AR2412 AudioRack

Channels	40
Stereo links	✓ from Qu
Auto names	✓ from Qu

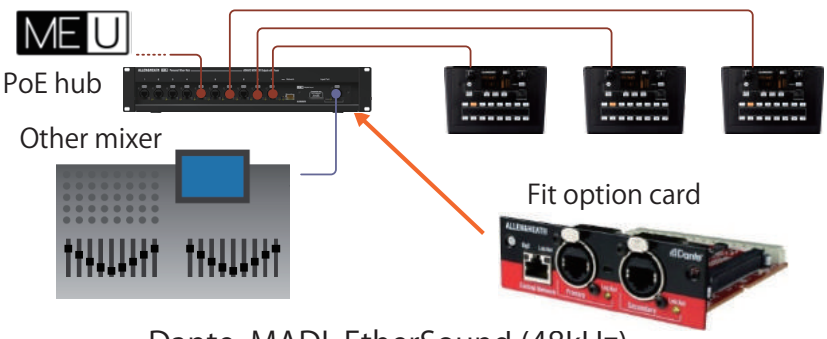


Use AB2412 Monitor and/or Expander port

Other

Using ME-U with option card
Dante, MADI, EtherSound 48kHz

Channels	up to 40
Stereo links	✓ from ME-U
Auto names	✓ from ME-U
PoE from hub	✓ from ME-U



Dante, MADI, EtherSound (48kHz)

3. はじめに

最初に本ユーザーガイドを読むことをお勧めします。しかし、すぐに使用したい場合は、以下の簡単な手順に従ってください。

内容を確認してください - 梱包製品リストを確認し、注意事項をお読みください。

ME-1 ミキサーの電源を入れます - 各国に準じた電源に適した電源プラグアダプターを取り付けてください。プラグを差し込んで電源を入れます。

ME-1 の設定方法 - ミキシングシステムに接続する必要なく、ME-1 をテストすることができます。
ホーム画面には、電源投入後の現在の設定名が表示されます。ME-1 は出荷時に 'ME' 設定がロードされて出荷されます。
DEMO プリセットを呼び出すには、Recall キー + Key1 を押します。もう一度 Key1 を押して確定します。キーを離します。このリコール例は、バンドボーカル用の設定です。

ME-1 の動作について：
• 画面上の名前を表示します。
• レベルの調整はロータリーを回してください。
• パンの調整はロータリーを押したまま回してください。
• Key1 と Group キーを押してください。
• EQ とリミッターは Master キーを押してください。

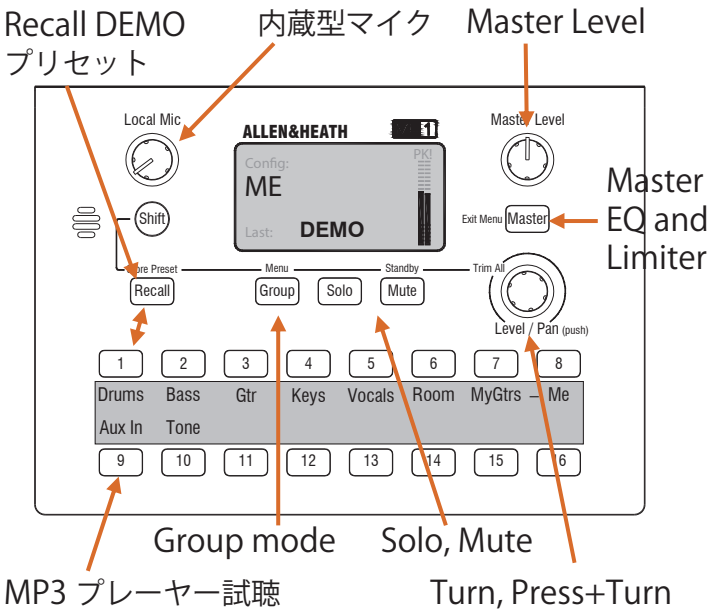
オーディオを聞く - 両方のレベルコントロールをオフにしてください。ヘッドフォンと MP3 プレーヤーをリアパネルの Aux 入力ソケットに差し込みます。
ゆっくりと**ローカルマイク**を上げ、アンビエントを聞きます。

Key9 を押し、**MP3 プレーヤー**を起動してゆっくりと Master Level を上げてください。ヘッドホンの音楽を聞いて、メーターの動きを見てください。

Key10 を押して、テストトーンを追加します。

コントロールを試す
• オーディオの試聴
• ミュートの切替
• ソロを押し続け、1 つの音源の試聴

このガイドの残りの部分を読んでください ☺



出荷時のME設定

「設定」はすべての ME-1 設定とプリセットを保存し、USB キーで転送することができます。
「ME」設定は、ME-1 が出荷されたときにプリセットされています、また独自のスタート設定は、Allen & Heath のウェブサイトからダウンロードできます

• すべてのキーがオートモードに設定されています（1 つのキーにステレオアサインとしてリンクされている最初に利用可能なチャネルをアサインします）。
• 名前はデフォルトに設定されています（チャンネル番号や名前は Cat5 ケーブル経由で受信します）。
• すべてのキーのプリセットのストア / リコールを有効にします。

4 つのプリセットが設定されています
プリセット 1 **DEMO** - バンドボーカルの例
Key 1-5 = 残りバンド
Key 6 = ルーム（オーディエンス）
Key 7-8 = ボーカルと楽器
Key 9 = ローカル Aux 入力（MP3 プレーヤー）
Key 10 = 1kHz の正弦波（テストトーン）
Key 11-16 = 未アサイン
プリセット 2 **AUTO** - すべてのキーは、オートモードで設定します。使用開始時に有効です。
プリセット 3 **1TO16** - チャンネル 1〜16 にアサインされた Key で、Aviom®16 チャンネルモードで作業するときに素早く開始できます。
プリセット 4 **CLEAR** - ブランクから開始するため、すべてのキーはアサインされていません。

4. フロントパネル

Local Mic
内蔵型マイクがステージ上の音を拾い、他のミュージシャンとの会話が可能です。レベルコントロールを分け、マスターレベルコントロールの影響を受けません。 オプションでマイクを無効にできます。

Screen
名前、レベル、パン、ステレオ・シグナルメーター用の照明付きスクリーン。マスターEQとリミッター、設定とプリセット情報、セットアップメニューに使用できます。

Master Level
全体のミックスレベルを調整します。ローカルマイクレベルには影響しません。

Master Key
マスターEQとリミッターにアクセスします。また、セットアップ中のメニューを終了することもできます。

Shift key
押したまま：
+リコール=ストアモード
+グループ=セットアップメニュー
+ミュート=スタンバイ入/切
+ ロータリー =全レベルのトリム

Preset Recall key
プリセットのリコール、USBからプリセットをリコールするには、リコールキーを押しながらSelectキーを押します。

Preset Store mode
現在のキーアサイン、名前、およびグループメンバーをプリセットとしてキー、またはUSBに直接保存します。

Group key
グループが選択されている場合に点灯します。 Groupキーを押してグループモードに入り、グループ内のレベル/パンを調整します。セットアップメニューを終了するときにも使用できます。

Solo key
現在の選択キーのみをソロにします。メーターには、選択したソースのレベルが表示されます。一時的なソロはキーを押し続けます。

Mute key
選択キーをミュートします。ミュート時は赤く点灯します。

Select keys
アサインされたソースを調整するには、16個の選択キーの1つを押します。ミュート時は選択キーが点滅します。最大16個のプリセットのストアとリコールにも使用できます。

Rotary
レベルを調整するにはロータリーを回し、パンの調整には押しながら回してください。

Shiftキーを押し、ロータリーを回しすべてのトリムを調整するか、またはグループモードですべてのグループのトリムを調整します。

セットアップメニューのオプションにも使用できます。

5. リアパネル

Phones
1つまたは2つのヘッドフォン/イヤフォンに接続するための3.5mmミニジャックと1/4インチTRSステレオジャック、またはワイヤレスインイヤートランスミッターやパワードスピーカーなどのラインレベルの機器に接続できます。 ミックスとローカルマイク信号が含まれます。

Tip =左、Ring =右

Mono Out
パワードスピーカーやドラマーなどのモノラルラインレベルの機器に接続するためのモノアウトバランス型TRSジャックです。

出力は、LRミックスのモノラル出力です。 ローカルマイク信号は含まれません。

Aux In
3.5mmミニジャックを使用してMP3プレーヤーやクリックトラックなどのローカルステレオラインソースを接続します。
Aux Inは選択キーの1つにアサイン可能です。 どのキーにもアサインされない場合は、その信号はオフになります。

Tip =左、Ring =右。

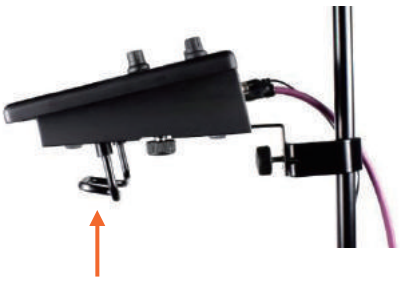
取付方法:

Surface
平らな表面に使用するための滑り止めスペーサー付。

Top or mic stand
標準の3/8 "ネジ受を装備しています。

Side of mic stand
側面から取り付けタイプのブラケットを付属しています。装備されている3/8 "ネジ受から取り付け可能です。

Plinth
プラスチック製の６ヵ所ネジ穴を使用して固定可能です。



ヘッドフォンフック

Link In
音源からCat5ケーブルで、EtherConコネクターに差し込みます。

GLDまたはQu dSNAKE、またはME-Uハブに接続すると、40チャンネルのオーディオを受信でき、Aviom®A-Net 16に接続すると、16チャンネルのオーディオを受信します。名前とステレオリンク情報も受信することができます。

PoEスイッチまたはME-Uハブに接続されている場合は、DC Inソケットの代わりにLink In Cat5ケーブルを使用してミキサーに電力を供給できます。

Link Out
デイジーチェイン接続するときにCat5ケーブルで、次のME-1にオーディオを供給するためのEtherConコネクターです。

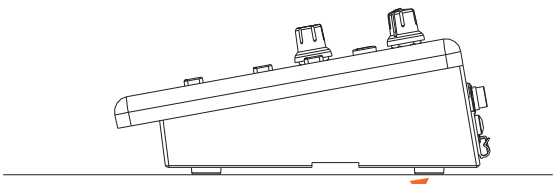
Link OutはPoE電源を供給しません。デイジーチェーンミキサーは外部電源ユニットを使用して給電されます。

DC In
外付PSU（電源）入力。 ミキサーは、ME-1付属の電源ユニットのDCケーブルを使用して電源を供給することができます。
また、PoE（Power over Ethernet）スイッチまたはME-Uハブに接続するとLink In Cat5ケーブルを介して給電することもできます。

USB port
ME-1ミキサー間のデータ転送、またはコンピューターへのバックアップ。個々のプリセットまたは全ての設定を転送します。 ME-1のファームウェアの更新にも使用されます。 1台のME-1を設定し、その設定を他のミキサーにコピーすることで、多くのME-1ミキサーを素早くセットアップできます。

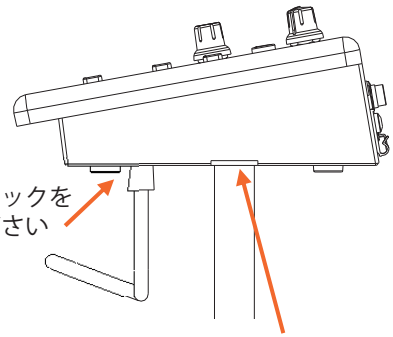
6. ME-1のインストール

6.1 ユニットの取付



サーフェイスのマウント – 滑り止めスペーサー

Note 高温機材の近くには置かないでください

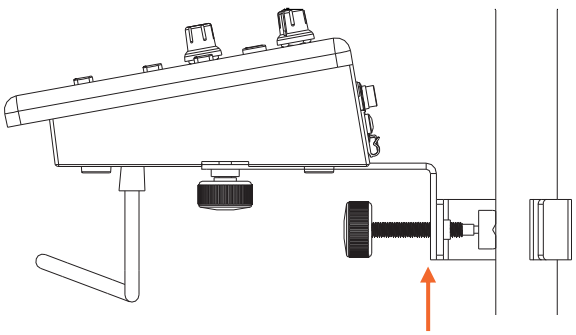


ヘッドフォンフックを
差し込んでください

スタンド立て用トップ−3/8インチネジ穴

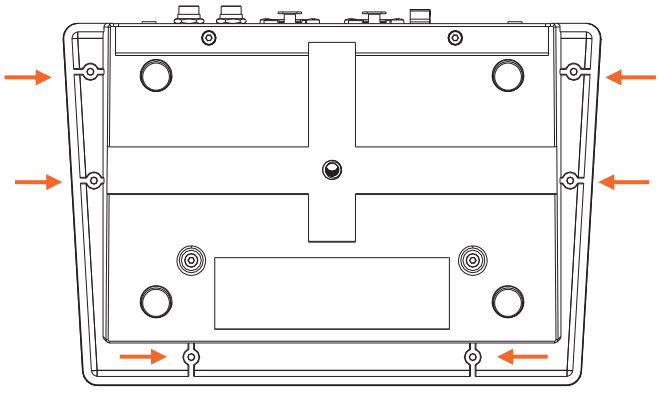
Note マイクスタンドが安定していることを
確認してください

マイクスタンド

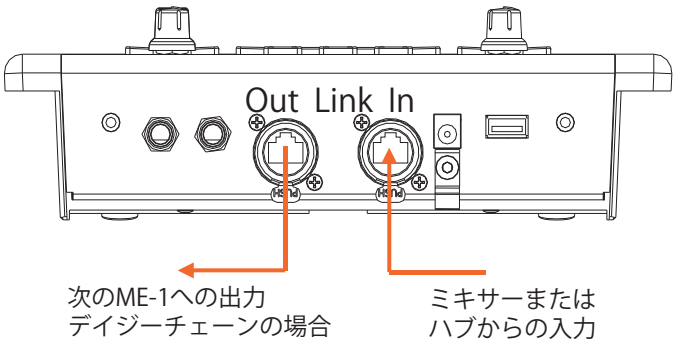


サイド用スタンドマウントーブラケット付属

台座マウンドー6Bネジ



6.2 Cat5 ケーブル



次のME-1への出力
デイジーチェーンの場合

ミキサーまたは
ハブからの入力

STP（シールドツイストペア）CAT5e以上のケーブルを使用してください。 フォイルスクリーンとスクリーンが編込まれたケーブルは、干渉を遮蔽し、より頑丈です。撚り合わされたコアケーブルは、ねじれたり、繰り返し使用し起こりうるダメージが少なくなります。

ME-1は、接続を保護し、ツアー用の適合性を保証するために、ロック付きのNeutrik EtherConを提供します。EtherConプラグをロックするケーブルを使用してください。
ケーブル1つあたりの最長 = 100m

6.3 Ethernet スイッチ

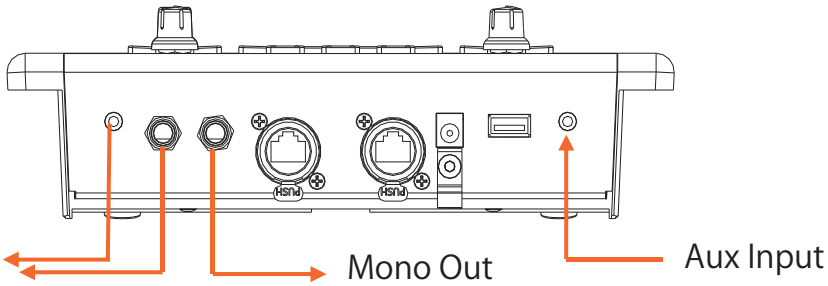
複数のME-1ミキサーをそれぞれ独自のケーブルでパラレル接続するには、市販の標準のイーサネットスイッチを使用できます。

Note Aviom®A-Net 16は、標準のイーサネットスイッチと互換性がありません。
管理されていない100 Mbit / s（ファストイーサネット）またはギガビットスイッチが適しています。

Note 3層PoEスイッチの使用は推奨されません。
PoE（Power over Ethernet）の場合、2つの規格802.3af（ソースで15.4W）または802.at（ソースで25.5W）のいずれかが適しています。
接続するすべてのME-1を提供するのに十分な総合電力定格であることを確認してください（1ミキサーあたり15Wを許容します）。

Allen＆HeathのME-Uハブは、最大10台のME-1にPoEと接続を提供します。

6.4 オーディオ接続



Stereo Headphones

1/4 インチ、または 3.5mm のヘッドフォンやイヤフォン差込口が 2 つのあります。インピーダンスが 16Ω～600Ωのヘッドフォンを推奨します。インピーダンスの低いヘッドフォンは、音量が大きくなる可能性があります。

1 つのソケットを使用することも、同時に 2 つのソケットを使用することもできます。たとえば、同じミックスを 2 人のミュージシャンに送ることができます。

Stereo line equipment

ステレオ出力を使用して、録音デバイスやワイヤレスインイヤートランスミッターなどのラインレベルの機器に給電することができます。

最大ライン出力レベル＝＋21dBu。
ME-1 は、左右両方の信号を同じ TRS（3 極ステレオ）出力ジャックに出力します。同じステレオ信号が大小の出力ソケットに複製されます。

左右別々の入力を備えた機器にはステレオ Y 字ケーブルを使用してください。
出力はアンバランスです。バランス機器に接続するには、入力コールド（-）信号を接続先プラグ内のグランドに接続します。

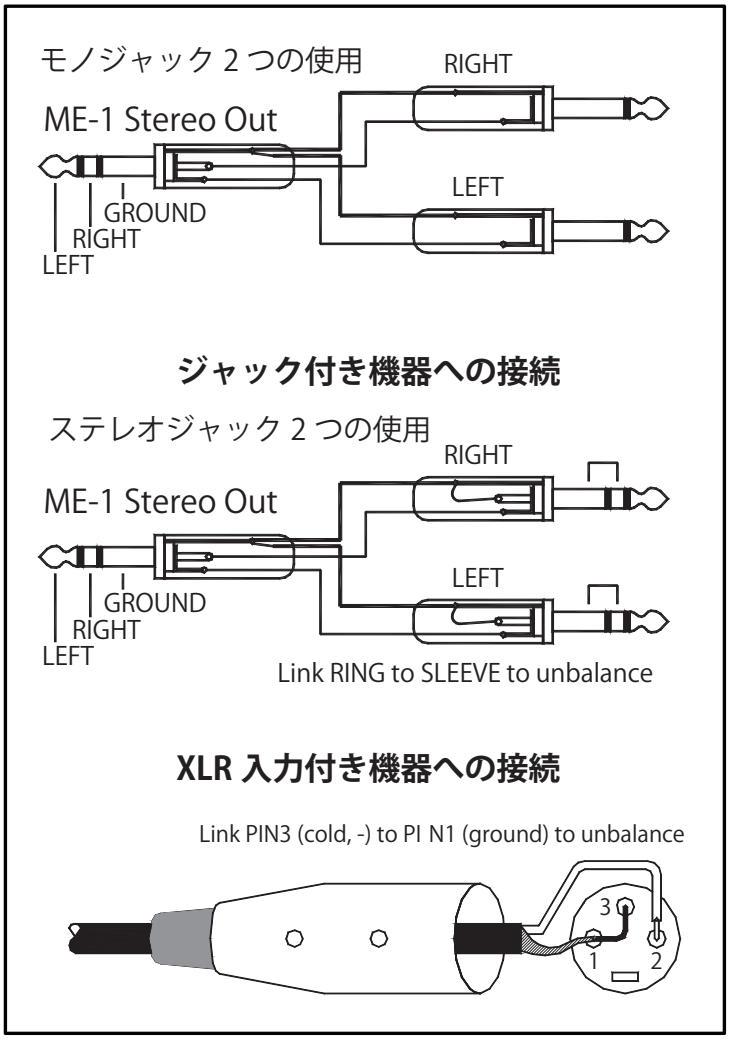
Mono output

出力は、バランスやアンバランスでパワードスピーカーなどのラインレベルの機器に供給することができます。

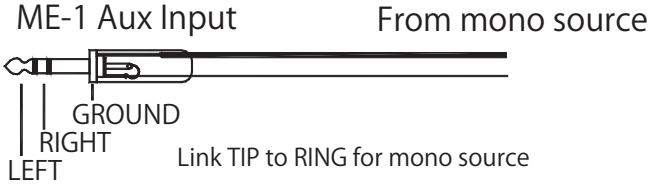
Aux Input

3.5mm のミニジャック入力ソケットは、MP3 プレーヤーなどのステレオソースに接続することができます。クリックトラックなどのモノラルソースを使用するには、プラグ内のチップ（左）とリング（右）の接続をリンクします。

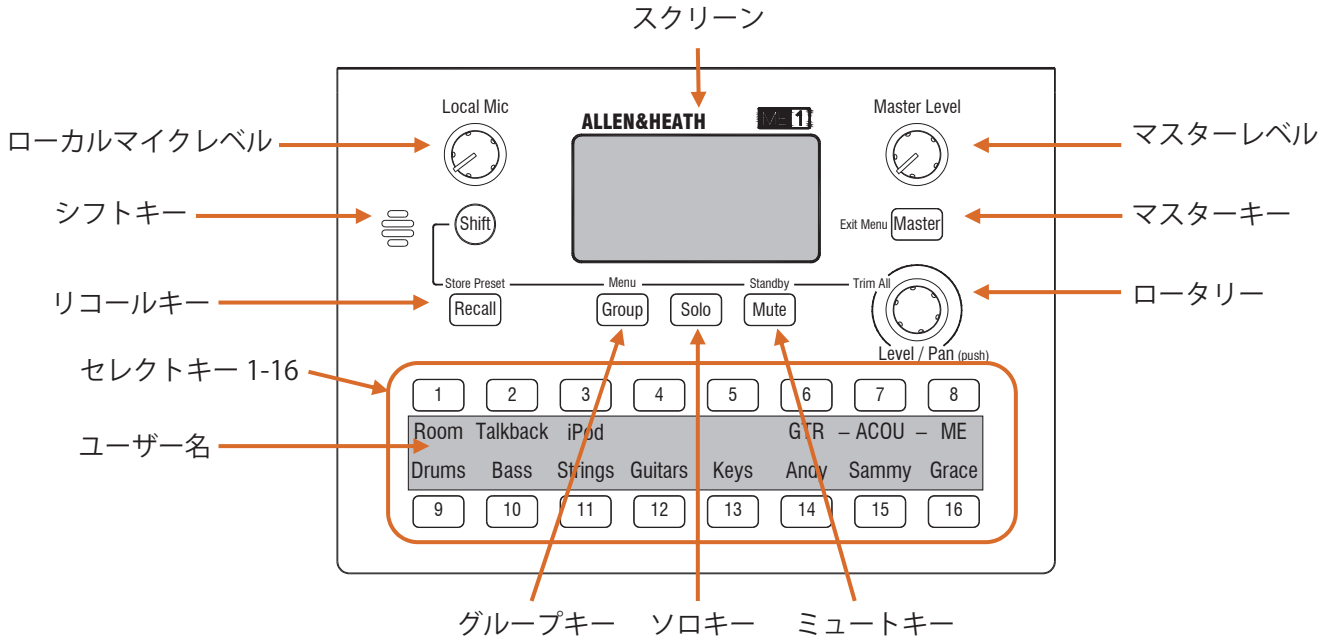
ME-1 とステレオライン機器の接続



モノラル接続



7. ME-1使用方法



7.1 電源のオン/オフ

電源を入れる

外部PSUをDC InソケットまたはCat5ケーブル（PoEスイッチまたはME-Uハブ）からLink Inソケットに差し込みます。**ホーム**画面が表示され、ディムの明るさでキーが点灯します。
ME-1は**ノーマルモード**で起動し、以前の設定が復元され、すべてのキーがオフになります。

電源を切る

PoEを使用している場合は、DCケーブルまたはLink In Cat5ケーブルのプラグを抜きます。

Note Link Outソケットからデイジーチェーン接続されている場合、電源を切るとチェーン内の他のミキサーのオーディオがオフになります。

7.2 スタンバイ

席を離れるときは、ミキサーをオフにする代わりにStandbyを使用してください。コントロールがロックされ、オーディオがミュートされます。スタンバイ時画面には、設定名が表示されます。

スタンバイ設定

Shiftキーを押しながらMuteキーを押します。終了する場合は、再度Shift+Muteキーを押してください。

7.3 操作モード

ノーマルモード
音源のレベル、パン、ミュートにはSelectキーを押してください。ミックスEQとリミッターはMasterキーを押してください。

グループモード
（グループが選択されている間は、Groupキーが点滅します）グループのメンバーのレベル、パン調整はスクロールしてください。

ソロモード
（Soloキーの点滅もしくは点灯します）ミックスの個別の音源を聞きます。

リコールモード
（Recallキーを押したままにします）ミキサーやUSBから保存されたプリセットを現在の設定に上書きします。

ストアモード
（Shift+Recall）現在の設定をプリセットやUSBに保存します。

設定モード
（Shift+Group）ディマーや設定画面にアクセスします。

スタンバイモード
（Shift+Mute）設定をロックし、ミュートします。

7.4 ロータリーコントロール

Turn
レベル、EQゲイン、リミッターの調整に回します。

Press and turn
押しながら回し、パンとEQを調整します。

Press Shift and turn
Shiftを押しながら回し、すべてのトリムレベル、グループ内のすべてのレベルを調整します。

Press
グループメンバーを選択または、メニューオプションを選択します。

7.5 スクリーンセーバー

キーやロータリーが10分間以上放置されている場合、設定名が動きます。 音声は影響を受けません。 任意のコントロールキーを押すことで、その機能に即座にアクセスします。 機能を変更せずに解除するには、Shiftキーを押します。

7.6 ホームスクリーン

ミキサーはホームスクリーンから始まります。

ミキサーまたはユーザーを識別するための**設定名**を表示します。 セッション中に呼び出された**最後のプリセット**名を表示します。 電源投入後または何もリコールされていない場合はブランク状態になります。

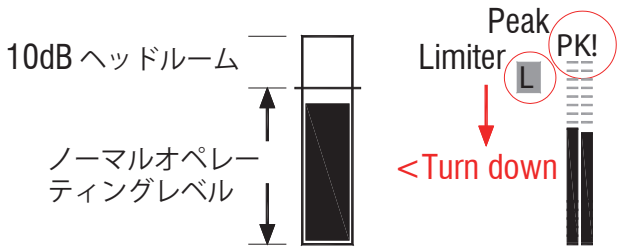
7.7 ステレオメーター

Master Levelコントロールの前に信号を表示します。**ノーマル**モードでは、統合されたミックスレベルが表示されます。**ソロ**モードでは、選択したソースのレベルが表示されます。

「PK！」はクリップする3dB前で点灯し、信号が大きすぎることを警告し、さらに大きくすると歪むことがあります。 リミッターが有効な場合に「L」が点灯します。

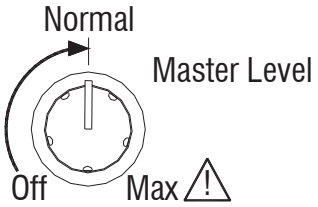
適切なメーターの読み方

最大音が「PK！」または「L」を点灯しないようにレベルを調整してください。 「Pk」または「L」が点滅している場合、ソースレベルを下げるか、すべてのレベルを同時に減らすトリムを使用します。



7.8 マスターレベルの調整

Master Levelを回して出力音量を調整します。プリセットに保存されていないグローバルコントロールです。ミックス・レベルには影響しますが、ローカルマイクレベルには影響しません。 メーターはプリレベルなので、このコントロールの影響を受けません。



最小レベルから始めてください。 最適なメーターレベルに音源を調整し、ロータリーを上げて、快適なレベルに調節してください。通常設定は、中央の位置です。

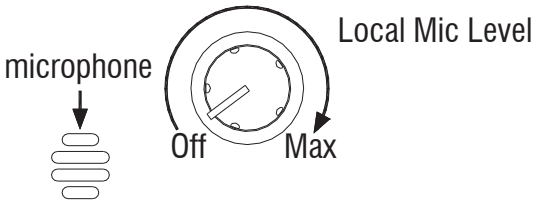
Warning

聴覚障害の危険性を避けるため、大音量での長時間の使用はしないでください。

7.9 ローカルマイクレベルの調整

ローカルマイクをオンにして、内蔵マイクからステージ上の音をヘッドホンやインフォンに加え、ミュージシャン同士で会話が可能です。

ローカルマイクレベルはプリセットには保存されず、マスターレベルやメーターには表示されません。
マイク信号はステレオ出力のみに送られます。



最小レベルから始めてください。そのままキープするか、必要なときだけレベルを上げてください。

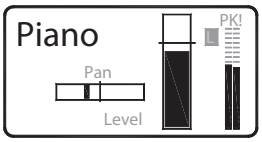
Note
フィードバックを避けるために、内蔵マイクの音量を上げた状態で、ヘッドフォンを内蔵マイクの横に置かないでください。

Note
ローカルマイクはステージサウンド用で、オーディエンスを追加したり、CAT5リンクを介して他のミュージシャンとコミュニケーションを取ることを目的としていません。

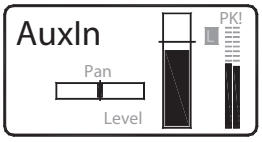
Note
ローカルマイクが聞こえない場合、セットアップでローカルマイクが無効になっている（ミュートされている）可能性があります。

7.10 音源選択

Selectキーを押します。アサイン方法は以下に表示されます。

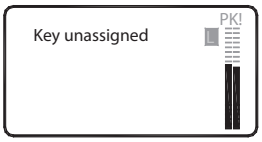


チャンネルソース
Cat5入力を介した40チャンネルの1つ。レベルとパンの利用ができます。



Aux Input
背面パネルのステレオ入力ソケット。レベルとバランスの利用が可能です。

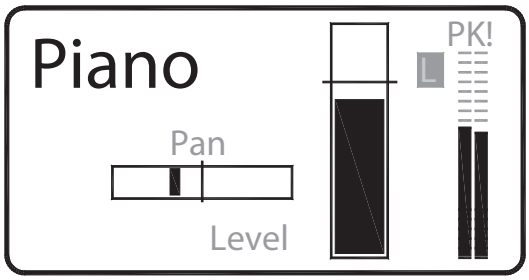
Group
Keyは、メンバーとして複数のチャンネルがアサインされたグループです。Groupマスターレベルの利用が可能です。

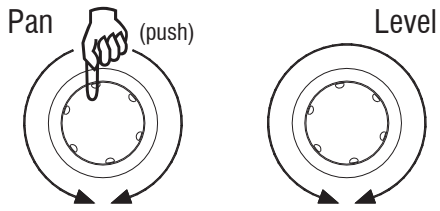


Unassigned
キーにアサインされたソースはありません。

7.11 レベルとパンの調整

ソースを選択：



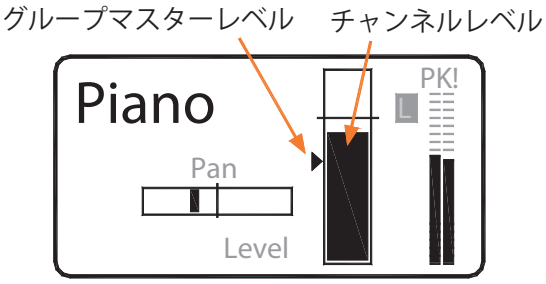


Level
目印のラインを '0'として、ヘッドルーム+ 10dBまで、ロータリーを回してレベルを調整します。

Pan
ロータリーを押しながら回します。 Panはモノラルソースを Leftと Rightの間に配置し、ステレオソースの Leftと Rightのバランスを調整します。

Note
グループはパンを使用できません。 ただし、グループ内の各メンバーのパンを調整できます。

チャネルがSelectキーにアサインされ、グループのメンバーでもある場合、レベルバー上のポインターは、現在のグループマスターレベル設定を示します。

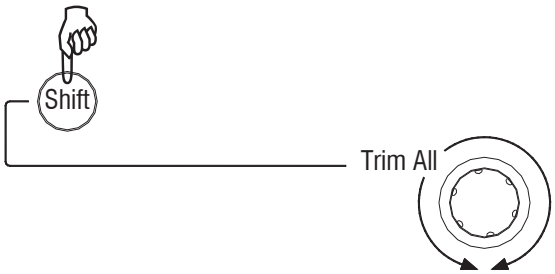


チャンネルSelectキーのレベルとグループ内のメンバーのレベルは同じです。

Note
チャンネルを上げ、オーディオチェックが聞こえない場合は、関係するグループマスターがオンになっていることを確認してください。

7.12 トリムすべてのレベル調整

Shiftを押しながらロータリーを回して、すべてのトリムのレベルを同時に調整します。



「PK！」または「L」が点滅している場合はミックスを減らし、低いメーターのミックスを表示するか、すべてのレベルをオフにするには、トリムオールを使用します。

ノーマルモードでは、Trim Allがすべての選択キーレベルを調整します。グループマスターを調整し、ソースメンバーは調整しません。

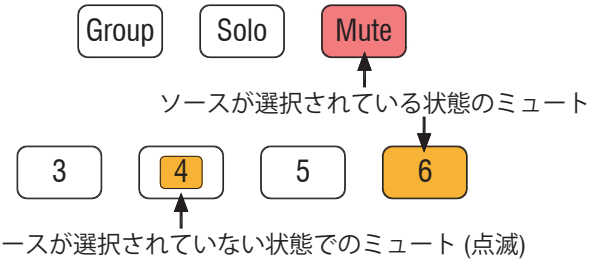
グループモードでは、Trim Allが選択したグループ内のメンバーのみのレベルを調整します。

Note ミックスバランスは、最高レベルのソースが最大に達するか、最低レベルのソースが最小に達すると変化します。
ソース間の相対的なバランスを維持したい場合は、トリムオールを使用して微調整してください。

Trim Allを使用してすべてのレベルをオフにする
トリムオールを使用してすべてのレベルをオフにします。最高レベルの設定のソースを選択します。Shiftを押しながらロータリーを反時計回りに数回回してオフにします。この方法でミックス全体またはグループだけをリセットすることができます。

7.13 音源・マスターをミュートする

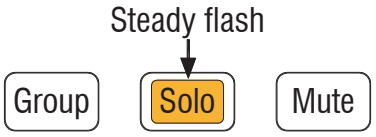
SelectキーまたはMasterキーを押します。
選択したオーディオをオンまたはオフにするには、Muteキーを押します。ソースがミュートされているときは、キーが赤く点灯します。
ソースがミュートされているが、選択されていない場合、ミュートされていることを知らせるためにSelectキーが点滅します。



Note ソースをミュートすると、ローカルでミュートされます。これは、システム内の他のME-1のミキサーはミュートしません。
たとえばミュージシャンが別のギターを接続する場合など、すべてのME-1ミキサーへの影響を防ぐためにエンジニアはメインコンソールのギターをミュートします。

7.14 ソロを聞く

ソースを選択する：



ソロラッチモード

ソロモードではソロキーが一定に点滅します。
選択したキーを除くすべてのオーディオがミュートされます。ミックス内でのソロを聞け、そのメーターレベルをチェックすることができます。
他のSelectキーを押し、異なるソロを選択します。終了するには選択キーをもう一度押すか、ソロをもう一度押してノーマルモードに戻ります。

一時ソロモード

Soloキーを押し続けます。点滅が止まり、押さえている間点灯します。モニターを終えたらキーを離してください。

7.15 グループマスターレベルの調整

グループレベル全体の調整をします
ソースを選択します。 グループとしてアサインされている場合は、Groupキーが点灯し、マスターレベルの画面が表示されます

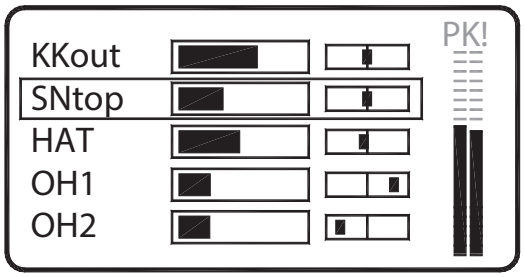
ロータリーを回して、グループマスターレベルを完全なオフから規定 '0'を通り+ 10dBゲインまで調整します。

Note グループのマスターレベルは、ソースメンバーが聞こえるようにする必要があります。

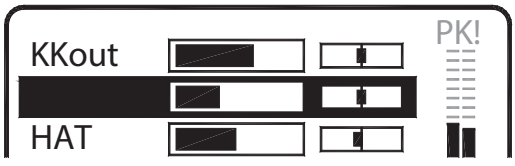
7.16 グループソースレベルの調整

グループメンバーのレベルとパンを調整します。
グループを選択してGroupキーを押すと、**グループモード**になります。

Groupキーが点滅し、グループのメンバーとしてアサインされたソースのリストが表示されます。



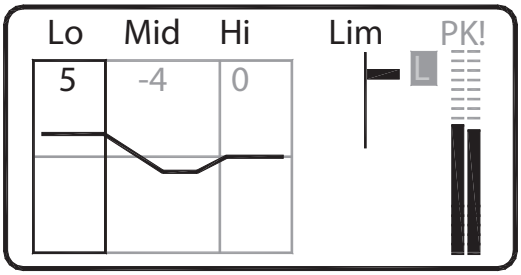
ロータリーを回してメンバーをスクロールし、調整したいメンバーを探します。
ロータリーを押して選択します。



ロータリーを回してメンバーのレベルを調整します。
ロータを押しながら回し、パンを調整します。
Groupキーを押して終了します。

7.17 マスターEQの調整

Masterキーを押します。ミックスマスターの3バンドEQとリミッターの設定が表示されます。



ロータリーを回して使用可能な設定をスクロールし、調整したいEQバンドをハイライトします。 ロータリーを押して選択します。

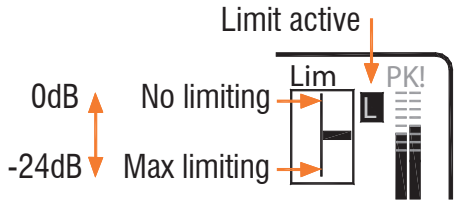
ロータリーを回して、カットやブーストの量を調整します。直線はフラットリスポンスを示します。

ミッドバンドを選択して中心周波数をスイープするときは、ロータリーを押して回します。

EQを使用する - EQをフラットにします。 極端なカットやブーストを避けてください。

7.18 ミックスのリミッター調整

Masterキーを押します。
ロータリーを回してLimをハイライト表示し、キーを押して設定を選択します。 ロータリーを回し0dB（制限なし）から下に-24dB（最大限に制限）までのポイントを調整します。



リミッターの使用

Master Levelをヘッドフォンの通常動作位置に設定し、リミッターをスケールの上部に設定します（制限なし）

ボーカルの最大瞬間など、演奏中に予想される最も高い信号とメーターを読み、リミッター「L」が点滅し始めるまでロータリーを上げてください。

Note リミッターは、ミックスの予期外の大きな音量を防ぐことができます。 Master Levelコントロールは、使用しているヘッドフォンや耳の種類や感度に合わせて全体の音量を設定します。

7.19 プリセット

ME-1には最大16個のプリセットがあります。

各Selectキーには、システムエンジニアがプリセットモードを設定し、ストアとリコールまたはリコールのみを許可することができます。

プリセットは、USBにストア/リコールすることができ、ME-1ミキサー間でプリセットを転送することもできます。

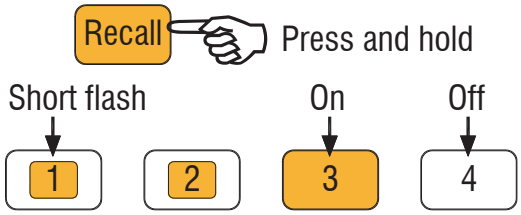
プリセットストア

- Key設定ーソースと名前
- Groupメンバー
- インプットレベル、パン、ミュート

プリセットには、キープリセットモード、Master EQ、リミッターまたはSolo設定、ローカルマイクとマスターレベルは保存されません。

7.20 キーからのプリセットリコール

Recallキーを押し続けます
キーを選択するとプリセットステータスが表示されます



Off – プリセットはブランクです

On – 最新のプリセットがリコールされています

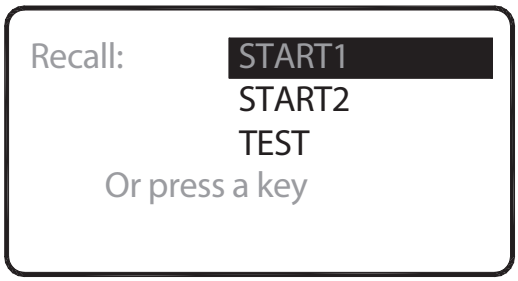
Short flash – プリセットがリコール可能です

Recallを押しながらSelectキーを押します。使用可能なプリセット番号と名前が画面に表示されます。
キーが点滅し、呼び出される準備が整ったことが示されます。

Selectキーをもう一度押して、リコールを確定します。現在の設定は、プリセットの内容で上書きされます。
リコールキーを放して終了します。

7.21 USBからのプリセットリコール

Recallキーを押します
USBキーが差し込まれている場合、キーにあるプリセットのリストが表示されます。



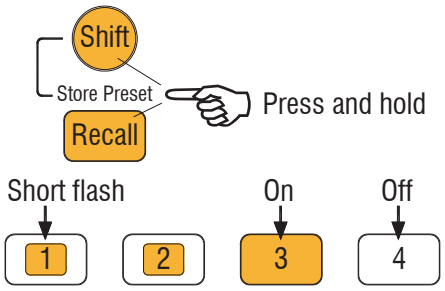
Recallを押している間、ロータリーをスクロールさせ、リコールするプリセットをハイライトします。

ロータリーを押してプリセットを選択します。 もう一度押すと、リコールが確定します。

Recallキーを放して終了します。

7.22 プリセットをキーに保存する

Shiftを押しながらRecallキーを押し**ストアモード**に入ります。
キーを選択すると、プリセットの状態が表示されます。



Off – キーセットまたはリコールのみ

On – 最後に保存されたプリセット

Short flash – プリセットはストア可能です

Selectキーを押します。 使用可能なプリセット番号と名前が画面に表示されます。キーが点滅し、ストア可能な状態を示します。

キーをもう一度押すと、プリセットを現在の設定で上書きします。
保存されると、ME-1は**ストアモード**を終了します。

7.23 プリセットをUSBに保存する

Shiftキーを押しながらRecallキーを押すと、**ストアモード**に入ります。
USBキーが接続されている場合は、「To USB」が画面上でハイライトされます。

ロータリーを押してUSBキーを選択します。 ロータリーをもう一度押すと、USBに名前が表示されたプリセットが保存されます。

USBにプリセットを保存する前に、名前を変更する場合は、[Edit Name]を選択します。

Note 名前が空白の場合、プリセットはデフォルトの「PRESET」名でUSBに保存されます。保存されると、ME-1は**ストアモード**を終了します。

7.24 プリセットを編集する

ストアモード時に、編集したいプリセットのSelecrキーを押します。
ロータリーを押して編集画面を開きます

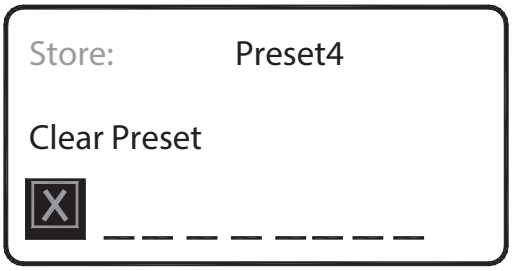
・名前は最大8文字までです
・名前をクリアにします
・プリセットの内容と名前をクリアにします

プリセットに名前を付ける
ロータリーを使用して、編集する文字までスクロールします。 もう一度押すと選択し、使用可能な文字をスクロールします。 もう一度押すと、別の文字にスクロールします。

プリセットに使用できる文字は次のとおりです。
0-9、A_Z、スペース

プリセット名をクリアにする
Xにスクロールします。すべての文字をクリアにするにはロータリーを押します。

プリセットの内容と名前をクリアにする
クリアプリセットにスクロールしエンコーダーを押してください。



プリセットを消去すると内容が消去され、名前が空白（名前なし）にリセットされます。

クリアされたプリセットを呼び出すと、「Preset is blank」というメッセージが表示されます。

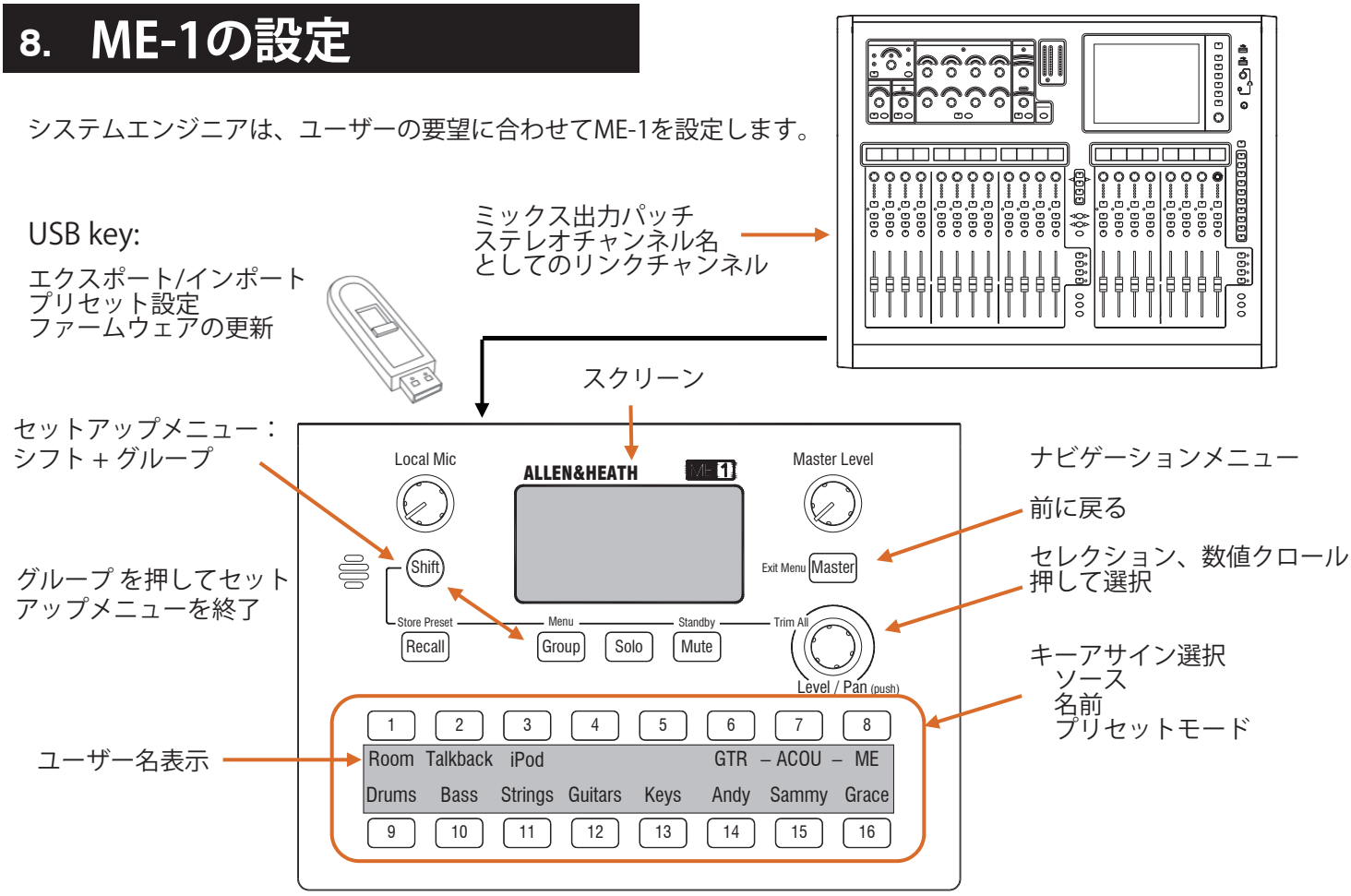
Note 誤って設定の上書を防ぐ必要のないプリセットをクリアすることをお勧めします。

編集メニューを終了する
Masterキーを押して**ストア**画面に戻ります。

ストアモードを終了するには、Shiftキーを押しながらRecallキーを押します。

8. ME-1の設定

システムエンジニアは、ユーザーの要望に合わせてME-1を設定します。



8.1 ミキサー出力をME-1にパッチする

接続されているソースに応じて、最大16または40のチャンネルへパッチ、ステレオリンクの設定、チャンネル名の送信が可能です。

Channels
ダイレクトアウトは、通常ポストEQ、プリコンプレッサー プリフェーダー、ポストミュートです。

Link
ステレオペアとして奇数/偶数をアサインします。

Groups
メインコンソールでソースを合わせる場合は、モノラルまたはステレオのグループを選択します。

Auxes
メインコンソールで独立したバランスを作成するためのモノラルまたはステレオAUXです。

Main mix
FOHミックスを送ります。

FOH effects
ステレオグループを介してメインミックスFXリターンを合わせ、ミュージシャンに送信します。

'My' effects
リードボーカルへのリバーブなど、1人のミュージシャンに専用のコンソールで使用可能なFXを設定します。チャンネルダイレクトアウトまたはステレオグループでリターンを設定します。

Ambient mics
アンビエントマイクのステレオペアのチャンネルダイレクトアウトを設定します。

Talk
モノラルAUXまたはスペアチャンネルダイレクトアウトを介してミュージシャンとの会話が可能です。

GLD dSNAKE or MONITOR port
40チャンネル＋ステレオリンク＋名称
I/O / Monitorスクリーンより設定

Qu Series dSNAKE
40チャンネル＋ステレオリンク＋名称
Setup / Output Patchスクリーンより設定

Other via ME-U hub (48kHz)
最大40チャンネル＋ステレオリンク＋名称
ステレオリンクと名称用のPC>ネットワーク
カードオプション - Dante, MADI, EtherSound

8.2 セットアップモード

セットアップメニュー：
Shiftを押しながらGroupキーを押す

メニューリストのスクロールとアイテム選択はロータリーを用いてください。
前の画面に戻るにはMasterキーを押してください。
ノーマルモードへ戻るにはGroupキーを押してください。

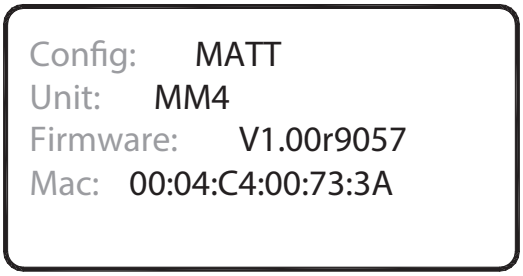
8.3 明るさ調整

ディマーメニュー：

2つの設定方法があります。ロータリーを押して明るさを調節してください。ディマーはスクリーンとキー明るさを調整できます。

8.4 スクリーンについて

スクリーンについて：



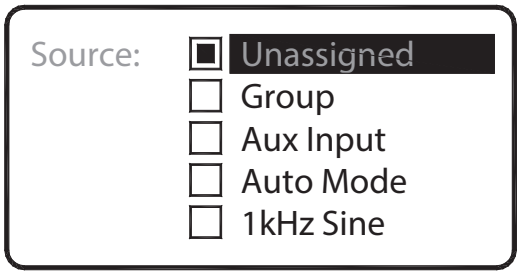
このスクリーン画面はME-1ミキサーについての情報です:
・現在の設定名(設定)
・現在のユニット名(ミキサー)
・現在のファームウェアバージョン
・MACアドレス(工場出荷時設定)

8.5 キーソースをアサイン

各オーディオソースは16個のセレクトキーに好みに合わせてアサインできます。

Keyセットアップソーススクリーン：

利用可能なソースのリストが表示されます。ロータリーを使ってスクロールし、必要なソースを選択し押してください：



Unassigned
キーはオーデイオソースを選択しません。キーを未使用のままにするか、プリセットにのみ使用するかを選択します。

Group
キーをすべてのチャンネルの全体レベルを設定するマスターグループに設定します。例えば、「Drums」または「Vocals」グループです。

Aux Input
背面にあるローカルステレオライン入力を選択します。

Auto Mode
キーはアサインされていない最初の利用可能なチャンネルに自動的にアサインされます。

1kHz Sine
ME-1出力に接続された機器のレベルをテストまたは、設定するために正弦波。

Channels 1-40
Cat5ケーブルを介した最大40チャネルのキーに個別のソースをアサインします。

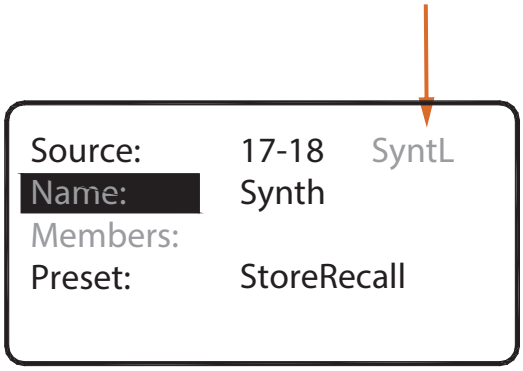
Note
接続されたソース（dLIVE、GLD、ME-U、Aviom®）からステレオリンクデータを受信すると、ステレオチャンネルペアがシングルキーにアサインされます。

Note
ソースリストには、接続元（dLIVE、GLD、ME-U）から受信したチャンネル名が表示されます。

8.6 オートネーム、ステレオリンク

Names

ソースで作成され、Cat5ケーブル経由で送信されたチャンネル名は、ME-1ミキサーで検出され使用できます。



ME-1は受信した名前をキー設定画面に表示します。これは「デフォルト」の名前として使用されます。また、カスタムキー名を作成してME-1ミキサーに保存することもできます。

たとえば:

Bass
名前がソースから入手可能な場合、ME-1はこれをデフォルトとして表示します。

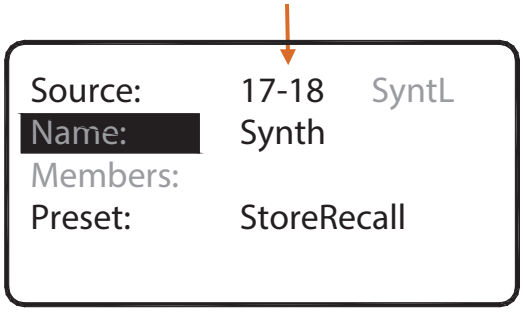
IP5 or **Aux2**
IP5またはAux2 - 名前が適用されていない、またはソースでリセットされている場合、ME-1はチャンネルのタイプと番号を表示します。

Unused
チャンネルがアサインされていない場合、ME-1はこのラベルを表示します。

5
オートネームが使用できない場合、代わりにチャンネル番号が表示されます。

Stereo Links

奇数/偶数チャネルは、Cat5ケーブルを介してME-1に送信される前に、ソースでステレオペアとしてリンクされている場合があります。
これにより、ステレオリンクされたペアを1つのキーにアサインすることができます。 ステレオペアの場合、パンはバランスコントロールになり、左右相対的な信号レベルを調整します。



キーアサインおよびグループメンバーリストには、リンクされたペアの奇数（左）チャンネルのみが表示されます。

ステレオリンクチャンネル例

ステレオキーボード、エフェクトリターン、オーディエンスマイクなどのソースをリンクします。

オートネームとステレオリンクが利用可能です：

✓✓ = Names / Links

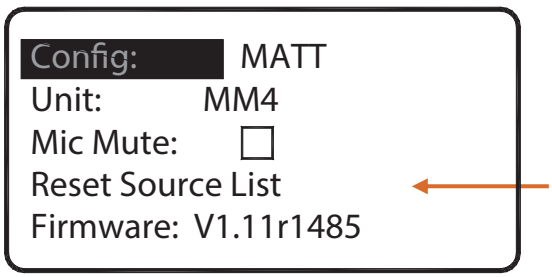
GLD

✓✓ **dSNAKE port**
サーフェイスまたはラックの使用可能なdSNAKE、エクスパンダーポート

✓✓ **AR2412 Monitor port**
ME-1（40チャンネル）またはAviom®（16チャンネル）モードで動作

✓✓ **AB168 Expander port**

✗✓ **I/O Port MMO card**
Aviom®ポート（16チャンネル）[ステレオリンクのみ]



Qu

名前とステレオリンクはすべてのQuシステムdSNAKEポートから利用できます。

✓✓ **dSNAKE port**
リモートラックへのデジタルスネーク接続に使用されていない場合。

✓✓ **AR2412 Monitor port**

✓✓ **AB168 Expander port**

ME-U

ME-Uハブは、デジタルネットワークから複数のME-1ミキサーにオーディオを接続します。
入力は、dSNAKE、ACE、DanteまたはMADIから供給されます。

Input Option card

リモート名とリンクの可用性は、装着されたオプションカードとミキサーが接続されているかどうかによって異なります。

✓✓ **ME-D**
Qu dSNAKEへの接続用

✓✓ **ACE**
2番目のCat5ケーブルがネットワークポートのミキサーのネットワークポートに接続している場合に限り、ME-UハブはGLDまたはiLiveからACE経由で名前とステレオリンクを取得できます。

Note
ネットワークにリンクする場合、ME-Uハブとミキサーに互換性のあるIPアドレスがあることを確認してください

✓✓ **Dante option fitted to GLD or iLive**
2台目のCat5ケーブルがネットワークポートをミキサーのネットワークポートに接続している場合、ME-Uハブはミキサーから名称とステレオリンクを取得できます。

✗✗ **他社製品からDante**
オーディオのみ

✓✓ **MADI option fitted to GLD or iLive**
Cat5ケーブルがネットワークポートをミキサーネットワークポートにリンクする場合、ME-Uハブはミキサーから名前とステレオリンクを取得できます。

✗✗ **他社製品からMADI**
オーディオのみ

Note
ME-Uは48kHz MADIのみをサポートしています。

Local at ME-U

✓✓
名前とステレオリンクは、接続されたすべてのME-1ミキサーに供給するためにハブでローカルにアサインできます。

Other Sources

ME-1は直接に接続することができます：

✗✓ **Aviom® A-Net 16**
ステレオリンク機能を備えたAviom®出力（16チャンネル）を提供する他社製品相互システム。 名前は使用できません。

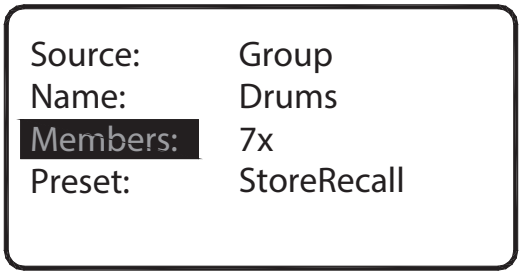
Note
Cat5ケーブル（PoE）の電源は、Aviom®ハブ経由で接続する場合は使用できません。 ME-1ミキサーに付属の電源ユニットを使用してください。

8.7 グループの設定

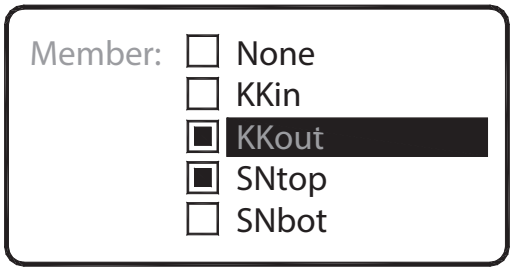
SelectキーをGroupとしてアサインできます。最大16のグループを設定できます。
グループのメンバーとして40チャンネルの任意の数をアサインできます。

Note
チャンネルは1つのグループにのみアサインすることができます。また、任意のキーにシングルソースとしてアサインすることもできます。

まず、Groupをキーソースとしてアサインします。次に、スクロールしてメンバー画面を選択します。



メンバーリストには、接続元から受信したチャンネル番号または名前が表示されます。



チャンネルをアサインする
ロータリーを使用してリストをスクロールし押して選択します。

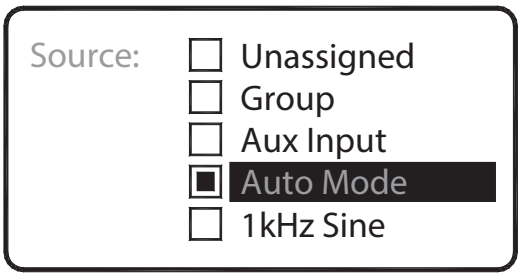
チャンネル範囲をアサインする
Shiftを押しながらロータリーを回します。グループのイン/アウトを切り替えるときに押します。

全てのアサインをクリアにする
Noneを選択し、OKを選択して決定します。
Masterーキーを押してキー設定画面に戻ります。

Working with groups
Groupとしてキーをアサインした後、マスターレベルはデフォルトとして「0」から始まります。
グループモードを使用して、各メンバーチャンネルのレベルとパンを選択して調整します。調整後は、グループ内の音源を調整するのではなく、グループマスターレベルだけをミュージシャンに調整させるのが一般的です。

8.8 キーアサイン・オートモード

ME-1は利用可能なCat5チャンネルソースを自動的にそのキーにアサインします。 複数のキーをAuto Modeにアサインすることができます。
キーセットアップソース画面でAuto Modeを選択します。



Auto Modeは、ME-1がステレオリンクとチャンネル名を検出できるときに効果的です。

Auto Mode
キーは使用可能な最初のチャンネルを検出します。
・別のキーにアサインされていない
・グループのメンバーではない
・ソースでアサインされていない
ステレオリンクされたソースをシングルキーにアサインします。

Note
オートモードは、ME-1の電源オン時、Cat5ケーブルのプラグを再接続するたびにリフレッシュされます。

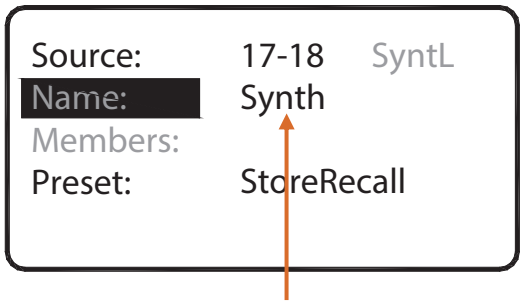
オートモードを使用する
At the source (dLIVE,GLD, or ME-U):
1.ステレオリンクとチャンネル名を適用します。
2. Cat5ケーブルをME-1に接続します。

At the ME-1:
3.必要な固定キーソースをアサインします。
4.必要なグループをアサインします。
5.その他のキーをオートモードにアサインします。
6. オートアサインのためにME-1を再起動します。
7.Selectキーを押して、アサインをチェックします。

16個のキーの一部または全部をオートモードにアサインすると、素早くソースを設定できます。
ME-1のハードリセットと工場出荷時のデフォルトの「ME」構成は、すべての16個のキーをオートモードに設定します。

8.9 キー名称のアサイン

Name画面を選択しスクロールします：



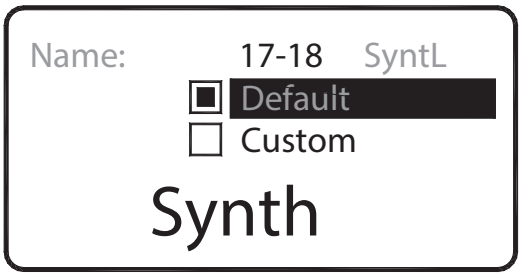
現在のソースと名前が表示されます。
上記の例です：

17-18 ：チャンネル17・18のステレオリンク

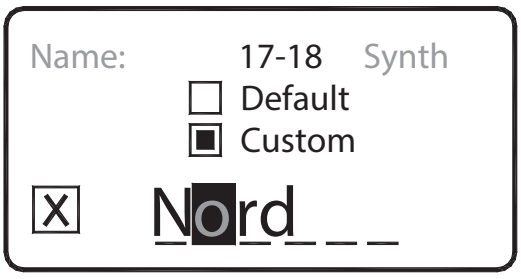
SyntL ：ソースからの名前を受信

Synth ：キーに表示されるカスタム名

名前の編集：



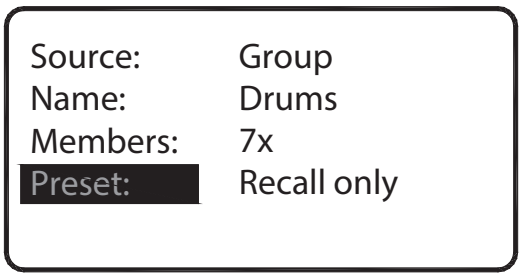
チャンネル番号またはソース（GLDまたはME-U）で検出された名前を使用するには、デフォルトを選択します。
カスタムを選択して、キーに6文字までの好みの名前に編集します。



Xを選択すると、現在の文字が消去されます。
使用できる文字は次のとおりです。
0-9、A-Z、a-z、スペース
Masterキーを押してKey Setup画面に戻ります。

8.10 キープリセットモードのアサイン

Presetをスクロールします：



プリセットは16個のキーのそれぞれで使用できます。それぞれは、2つの操作モードのいずれかに設定できます。 ロータリーを押すもしくはスクロールします。

・ストア/リコール - ストアとリコールが可能です。
・リコールのみ - 保存することはできません。

各キーを順に押してオプションを設定します。
Masterキーを押してメニューを終了します。

プリセットの保存

・Keyセットアップ - ソースと名前
・Groupメンバー
・入力レベル、パンとミュート

プリセットには、キープリセットモード、マスターEQリミッター、ソロ設定、またはローカルマイクとマスターレベルは保存されません。

開始プリセットの保存

ストア/リコールのキーを設定し各設定を行い、プリセットをユーザーとして名前を付けて保存します。さまざまな状況で複数のプリセットを保存できます。

プリセットの保護

プリセットの名前を付けて保存したら、Key Setupに戻り、Recall専用のキープリセットモードを設定します。

プリセットを無効にする

ストアモードで、キーを選択して**Edit**画面を使用しプリセットをクリアします。 Key Setup定に戻り、Recall専用キープリセットモードを設定します。 プリセットは空白で保護されているため、キーでは無効になっています。

ユーザープリセットの許可

Store/Recallキーを設定します。ユーザー用にクリアまたは名前を付けることもできます。

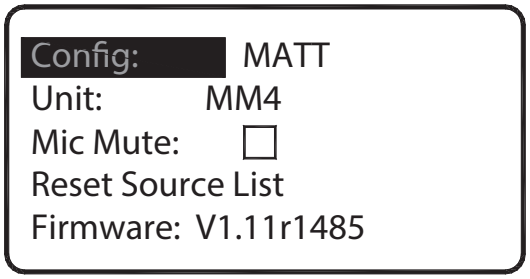
USBからプリセットを転送する

このガイドの「操作」のセクションで説明した**ストア**モードと**リコール**モードを使用して、コンピュータ上の個々のプリセットをアーカイブにしたり、他のME-1ミキサーに転送できます。

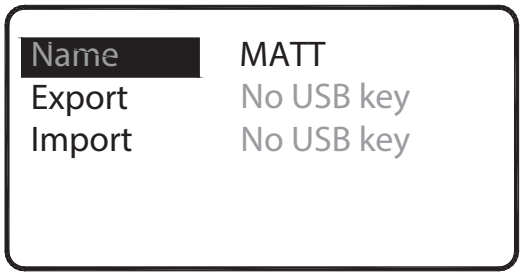
8.11 設定について

ME-1設定は、現在の設定、すべてのアサイン、およびすべてのプリセットを保存します。Shiftキーを押しながらGroupキーを押します：

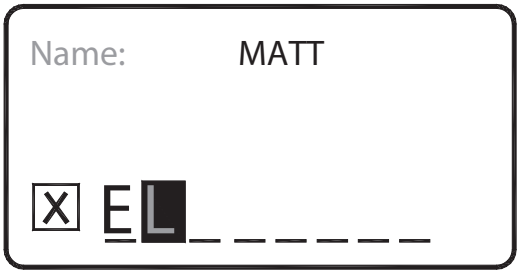
セレクトシステムセットアップ：



設定名を変更し、USBキーで設定ファイルをエクスポートまたはインポートするには、「Config」画面を選択します。



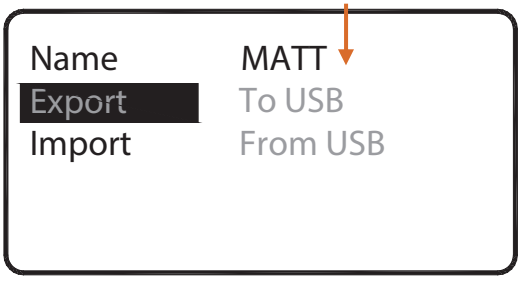
最大8文字のConfig名をホーム画面、スクリーンセーバー、および**Standby**モードのディスプレイに適用することができます。これはUSBを介して転送される設定ファイルの名前にもなります



Xを選択すると、現在の文字が消去されます。
使用できる文字は次のとおりです。
　0-9、A-Z、スペース
マスターキーを押して設定画面に戻ります。

ファイルのエクスポート

USBを差し込み、キーが認識されているか確認します

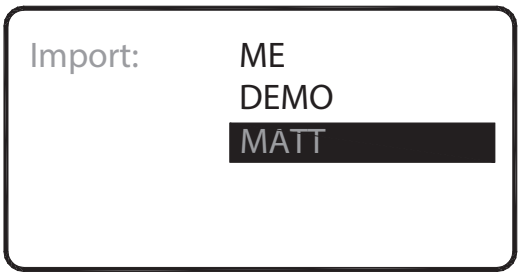


ME-1はUSB上にME1CFGフォルダを自動的に作成します（既存していない場合）。
変更したい場合は、名前を編集します。 確認画面で「エクスポート」と「OK」を選択します。

Note
エクスポートは、既存の設定ファイルをUSB上の同じ名前で上書きします。

ファイルのインポート

必要なファイルが入ったUSBを正しいフォルダーに差し込みます。
キーが認識されていることを確認します。



USBにある設定ファイルのリストをスクロールします。
ロータリーを押してファイルを選択し、確認画面で「OK」を選択します。

Note
設定をインポートすると、すべてのME-1の設定とプリセットが上書きされます。 設定を保存する場合は、まず現在の設定をUSBにエクスポートします。

設定について

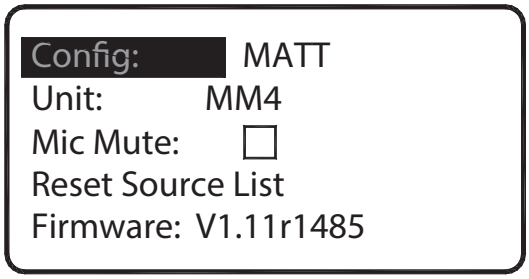
1つのME-1ミキサーをセットアップし、すべての設定とプリセットを設定ファイルとして保存し、USBにエクスポートすることができます。 これを使用してコンピューター上の設定を保存するか、編集の開始点として他のME-1ミキサーにコピーします。 これにより、パーソナルモニターとして複数のミキサーのセットアップが非常に簡単になります。

Note
個々のプリセットをはUSBから直接呼び出すこともできます。 これにより、すべてのプリセットと現在のアサインを上書きすることなく、ミキサー間で設定を簡単にコピーできます。

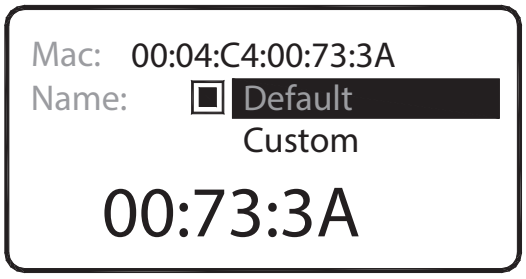
8.12 ユニット名の変更

ME-1ミキサーには、ハードウェアを識別するための
ユニット名を付けることができます。 Shiftキーを押
しながらGroupキーを押して、Setup Menuを開きます。

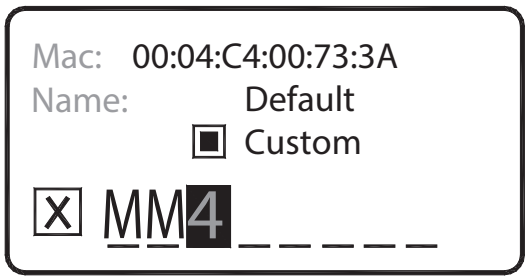
システムセットアップ方法：



ユニット名の設定は、ユニット画面を選択します。



各ME-1ミキサーには、ネットワーク上で識別するた
めの固有のMACアドレスがあります。 これは出荷時
設定であり、変更することはできません。
ユニット名には2つのオプションがあります
・既定= MACアドレスの最後の部分
・カスタム= 8文字まで入力します
カスタムのユニット名を設定するには



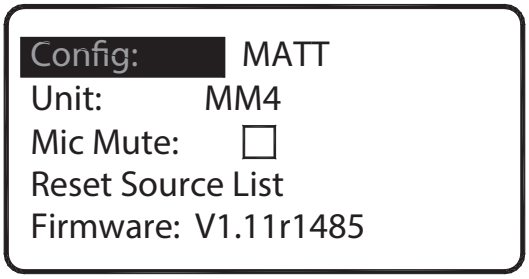
ロータリーを使用して名前を編集します。 Xを選択す
ると、現在の文字が消去されます。
Masterキーを押して、System Setup画面に戻ります。

Note
設定をインポートしても、ユニット名は影響を受け
ません。 ただし、電源を落とすとデフォルトにリセ
ットされます。

8.13 ローカルマイク・ミュートオプション

内蔵のローカルマイクは、ミックスに舞台上のサウン
ドを追加したり、ミュージシャン同士の会話に便利です。
この機能が不要な場合は、マイクミュートオプションを
設定することで無効にすることができます。
工場出荷時はマイクミュートがオフになっています。

システムセットアップ方法：



マイクミュートを選択し、ロータリーを押してオン/オ
フを決定します。

8.14 ME-1 ファームウェアアップデート

ファームウェアは、USBから更新できます。 利用可能
な最新バージョンについては、Allen＆HeathのWebサ
イトを参照してください。
お持ちのすべてのME-1ユニットを更新してください。

USBに最新ファームウェアをコピーする
ファームウェアファイルをダウンロードして解凍し、
ME1フォルダーをUSBにコピーします。 USBキーをコ
ンピュータから安全に取り外してください。

ファームウェアをアップデートする
USBをME-1リアパネルのUSBポートに差し込みます。
Shiftキーを押しながらGroupキーを押すと、セットアッ
プメニューが開きます。 システムセットアップをスク
ロールして選択します。 ファームウェアページを選択
します。

ロータリーを押して、新しいファームウェアを選択し
ます。確認画面を使用して更新を開始します。新しい
ファームウェアが読み込まれるとME-1は再起動します。
読み込みには数秒かかります。

9. リファレンス

9.1 USBを使う

再フォーマットされたUSBを使用することをお勧めします。

Check the key

プラグインし、キーがME-1によって認識されていることを確認します。 これを行うには、リコールキーを押します。 画面には、すでにキー上にあるプリセットのリストが表示されるか、空白の場合は次のメッセージが表示されます。

Folders

ME-1はUSBのルートディレクトリに自動的にフォルダーを作成します。
プラグイン：
　ME1CFG　設定ファイル用
　ME1PST　プリセット用

Files

設定ファイルとプリセットファイルは同じME1エクステンションを持っているため、コンピューターとUSBの間でコピーすると正しいフォルダに配置する必要があります。
ファイルはサイズによって識別できます：
　プリセット= 4KB
　設定= 72KB

ME-1には時計が内蔵されていないため、ファイルにタイムスタンプが付きません。

File names

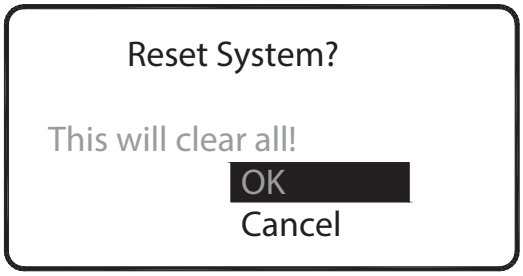
ME-1は8.3個の短いファイル名を使用します。8文字を超えるファイル名は認識されません。 小文字を大文字に変換します。

ABCD5678.ME1

コンピュータ上のファイル名をME-1ミキサーに転送する前に名前を変更する場合は、名前が8文字以下で、次の文字セットで構成されていることを確認してください。
　0-9、A-Z、スペース

9.2 ME-1をリセットする

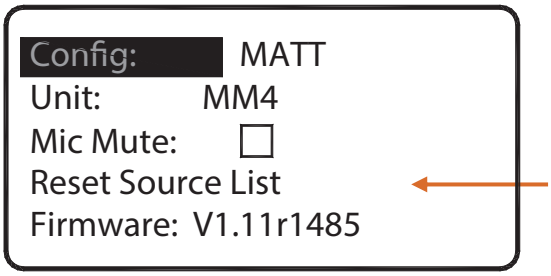
ハードをリセットするには：
Shift + Recall + Masterキーを押しながらミキサーの電源を入れます。以下の画面が表示されたらキーを離します。ミキサーをリセットすることを確認します。



ME-1のリセット：
- すべてのキーをオートモードにアサインます
- プリセットストア/リコールのすべてのキーをアサインします
- すべてのキーの名前をデフォルトにアサインします
- すべてのレベルがオフ、パンミッド、ミュートオフ
- すべてのプリセットが空白（クリア）
- 設定名= DEFAULT
- ユニット名=デフォルト（MACアドレス）

9.3 オートネームとリンクをリセットする

ソースから受信した名前とステレオリンクをクリアすることができます。
やり方：
ShiftとGroupを押しながらメニュー画面に入り システムセットアップをスクロールして選択します。 スクロールして、リセットソースリストを選択します。



Note

名前とリンクデータを持たないソースにME-1を直接接続している場合は、この機能を使用して以前に受信した名前とステレオリンクをクリアできます。

9.4 Specification

Stereo Out ステレオ¼”、3.5mmジャック：
Headphones >16 Ω , power 300+300mW
into 100Ω load, or line out max +21dBu

Mono Out – バランスTRS ジャック, ノーム 0dBu,
最大 +18dBu

Aux Input – ステレオ¼”、3.5mmジャック,
ノーム -8dBu,最大 +10dBu, impedance >10kΩ

Residual Output Noise - -95dBu (level min)

Freq Response - +0/-1dB 10Hz to 20kHz

Mains Power Unit – 100-240V AC 50/60Hz,
+12V DC 1.25A out

PoE Requirement – 10W at ME-1
推奨 15W at PoE hub)

Dimensions – Width x Depth x Height
225 x 150 x 55mm

Weight – 900g フォーンホック含む

株式会社アートウィズ 〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町 511 Tel : 03-3202-2330
〒409-3845 山梨県中央市山之神流通団地 3-3-4 Tel : 055-274-4004